

岐阜大学 iGEM による講演会（1年生理数科）

演題：「発酵ってなんだろう？ ～生命現象から考える発酵の意味～」

9月12日（火）に、岐阜大学応用生物科学部の「iGEM」という団体から、大学生を招いて、講演会を行いました。遺伝子組み換え技術や、発酵の分子レベルにおけるメカニズムについて、学習しました。

【講演会の様子】



<生徒の感想>

パイナップルにはタンパク質を分解する酵素が入っている事を、実験を通して学ぶ事ができた。資料集にも載っているが、実際に自分の目で見ると、反応のすごさに驚いた。発酵と腐敗というのが、どちらも菌の作り出す酵素の働きによっておこる反応であり、「人にとって有益＝発酵、人にとって有害＝腐敗」というだけで分類されているのは、面白いと感じた。

iGEMの活動が理解できた。自分たちで資金を集めて、実験をして、海外での発表を目指しているところが、すごいと感じた。「大学は自分次第で面白くもなるし、つまらなくもなる」という言葉が心に残った。目的を持って、大学へ入学したいと感じた。